

市民意見のまとめ

令和3年11月29日から令和4年2月22日までの間に292件のご意見をいただきました。多くの市民の皆様のご協力に感謝を申し上げます。ご意見としては、現状維持が67件、増員が3件、減員が52件、要望等が170件という結果となりました。以下に主な意見を集約して示します。

- ・他市との比較、人口減少や行政改革、経済の停滞を踏まえると削減すべき
- ・現在2名欠員だが機能は維持できているのではないか
- ・自己研鑽に努めれば減員しても対応できるのではないか
- ・少数精鋭で頑張ればよい
- ・市域が広大であること、類似市との比較から見て現状の体制が妥当である
- ・減員すると要望や意見を伝える機会が減り、弱者の声も届きにくくなる
- ・議員定数は人口要件やコスト削減といった観点だけで議論すべきものではない
- ・行政の進む方向を指し示していけるような議会であってほしい
- ・高山市を前に進めていける議会となってほしい
- ・多様性を重視すべきである
- ・魅力的な議会となってほしい
- ・議員は自己研鑽を重ねて資質向上に努めてほしい
- ・議会、議員の活動をもっと見えるようにしてほしい
- ・もっと地域に密着した活動を望む
- ・地域の声をもっと聴いて市政に反映してほしい
- ・議会への女性や若者の参画が必要である



アドバイザーの指導・助言

令和4年2月10日、高山市議会のアドバイザーをお引き受けいただいている廣瀬克哉法政大学総長から、オンライン会議を通じて、高山市議会の議員定数の取り組みに対する評価や今後の取り組み等についての指導・助言をいただきました。以下に主なポイントを示します。

- ・議論の内容から判断するに、現状維持とした中間報告は妥当と考える
- ・政策をよりよく吟味するためには多様性が必要であり、少数精鋭は原理的にあり得ない
- ・委員会の構成に多様性を反映させることが必要である
- ・次世代育成のためには、女性や若者が政策に関われるような取組を積極的に行う必要がある

